

授業科目名・形態	哲学 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	五十嵐 靖彦	実務経験の有無	無	開講期	1～2年前期

### 【授業の主題】

哲学で取り扱われるテーマは数多くあります。本講義ではまず哲学の学問としての一般的語義や特徴を解説した後、善悪や徳、幸福、健康、福祉等、特に人間としての生き方や価値観・倫理にかかわる諸問題について触れ、先人の思索の成果を参考にその要点を考察し、多様化する社会を見つめる感性を養い、充実した人生を送ることにつなげていく。

### 【到達目標】

1. 世界や社会について、「なぜ？」と深く追求する哲学的態度を身につけること。
2. 人間は「単に生きる」のではなく、「善く生きるべき」という先人（ソクラテス）の知恵を学び取ること
3. 哲学・倫理学を通して、多様な価値観や感性に触れ、人間としての生き方を考えること。
4. それを踏まえて自ら充実した意義深い人生を送るよう努めること。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 哲学とはどういう学問か
- 第2回 哲学の発祥地ギリシア
- 第3回 哲学と倫理学
- 第4回 哲学・倫理学上のキーワードの解説（人格、行為、責任等）
- 第5回 同 続講（徳、愛、自律等）
- 第6回 「幸福」の哲学について
- 第7回 「健康」の哲学について
- 第8回 「看護」の哲学について
- 第9回 「福祉」の哲学について
- 第10回 「介護」の哲学について
- 第11回 中間段階での理解確認ミニテスト及び解説
- 第12回 西洋文明の源流について
- 第13回 哲学史にみる人間の自己認識の歩み ①
- 第14回 哲学史にみる人間の自己認識の歩み ②
- 第15回 哲学史にみる人間の自己認識の歩み ③

### 【授業実施方法】

講義形式

### 【授業準備】

次回に取り扱うテーマについて事前に予告するので留意してくること。

【主な関連する科目】 人間の理解Ⅰ、医学的ケア、ソーシャルワーク論Ⅰ、介護の基本 等

### 【教科書等】

教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

### 【参考文献】

必要に応じてその都度指示する。

### 【成績評価方法】

ミニテスト 20% と期末テスト（80%）の合算。

### 【学生へのメッセージ】

毎回の授業で配布される資料は結構な分量となるはずなので散逸しないよう注意すること。